



# WEEKLY クラブの歴史と伝統を継承しつつ 新しい風を吹かせよう 週報 No.1938

## 鹿児島中央ロータリークラブ



令和2年1月20日 第1965回例会

1977年1月10日創立

2019～2020年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

●会 長 坂元 直人 ●副会長 加島 繁 ●幹 事 川路 理幸 ●編 集 広報・雑誌・IT委員会 (公共イメージ)

**四つのテスト** 言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 「クラブ協議会  
「上期報告と下期計画」

1月 職業奉仕月間

前回例会出席率  
78.18%



### 新春合同例会

■ 鹿児島サザンウインド RC 濱田 一郎

皆さん、新年あけましておめでとうございます。市内 11 クラブ新春合同例会ホストクラブ・鹿児島サザンウインドロータリークラブ会長の濱田でございます。本日は、最後までよろしくお願い申し上げます。



始めに、ゲストのご紹介をいたします。年明けのご公務ご多忙の中 鹿児島市長 森博幸様にご臨席いただきました、厚く御礼申し上げます。

次に、RI 第 2730 地区ガバナー喜島健一郎様でございます。宮崎市よりご出席いただきありがとうございます。森市長と喜島ガバナーには、後程ご挨拶とお話を頂戴いたします。

今年は、東京オリンピック、東京パラリンピックの開催。

鹿児島県におきましては、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の開催と大変にぎやかな1年となりそうです。また私たちロータリアンにとりましては、日本に RC が誕生して 100 年目という記念すべき年でもあります。この時に昨年誕生した令和ロータリークラブが新たに加わり鹿児島市内 11 クラブで新春合同例会を開催できますことは、大変喜ばしいことだと思います。

1964 年鴨池空港に到着したオリンピックの聖火が鹿児島を走り抜けました。当時の鹿児島市は、戦災からの復興をはたしてはいたものの町の中心部でもまだまだたくさんの空き地があり、元気な子供たちの歓声があふれていました。今年再び聖火が鹿児島にやってきます。様変わりした町並みは、聖火にはどのように映るのでしょうか。

56 年が経過し日本の発展と共に鹿児島各地にスポーツ施設がいくつも設置され、プロスポーツも誕生、鹿児島市民

マラソンも開催されるようになるなど、幼児から高齢者まで当時とは比較にならないくらい多くの方がスポーツに親しむようになっていきます。

その一方、グローバル化の激流の中、企業は、生き残りをかけひたすら拡大を続け、子供の貧困、教育問題、高齢者、障がい者など社会的弱者に関連する問題解決はなかなか進展せず、私たちロータリーでも、会員減少に伴う会員増強問題や例会での出席率低下の問題など苦戦しているのが現状です。

企業は、社会の為になければならない。企業は人を育て社会に役立たなければならぬと言った経営者もいました。これまでも自分の職業を冒瀆するような事件が頻発していましたが、日本でも屈指の大企業で社員も社会も省みることのない経営、大変な不正が行われていたのは、とても残念なことです。今では、多くの日本人が非難しているようですが、彼の行いは、目先の利益に固執するあまり未来の地球も他者も目に入らない今の社会そのものを象徴しているようです。

そのような中「日本で今もっとも必要なのは、ロータリーの心です」と言われる方がいらっしゃいます。それが、RI第2700地区パストガバナー廣畑富雄さんです。その著書「ロータリーの心と原点」から抜粋紹介したいと思います。

廣畑パストガバナーは、「ロータリーの心、ロータリーの精神は、日本でいま最も必要なものだと思います。ロータリーの本質は、慈善ではなく、ロータリーの目的にあるように倫理性を大事にする団体です。ご承知のように今の日本は、多くの問題を抱えています。あらためてロータリーの心を考えてみたいと思います。

なぜこういうことが起きるのか、その根源は一つであり、自分勝手な、自己主張のみ強くて得手勝手な人間が非常に増えた為ではないかと思えます。しかし、ロータリーの考え方は、自分勝手な生き方の正反対です。ご承知のようにシェルドンは、ロータリーの基本にサーヴィスを置きました。そしてサーヴィスと倫理の関係を考えると、人の為に役立つには、モラルが高くなければなりません。」と言われています。

日本のロータリークラブは誕生して100年、「自分の職業が社会に役立っているのか」を確認しながら成長してまいりました。私たちは、改めてその歴史を理解、認識してこそよりよい未来を創っていけるのではないかと思います。

最後に、本年が皆様とご家族並びに従業員の皆さんにとりまして輝かしく充実した幸多き1年となりますことを祈念いたしまして開会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

### ■ RI2730 地区ガバナー 喜島 健一郎

新年おめでとうございます。新年となり、皆様新鮮な気持ちでお正月を迎えられたことと思います。お正月気分も抜けきらぬ中ではございますが、本日こうして鹿児島市内RC新春合同例会が盛大に開催されることを、心よりお喜び申し上げます。



また、この会を運営されます鹿児島サザンウインドRC濱田会長をはじめ、ロータリアンの皆様には本日を迎えるにあたり、準備をしてくださるホストクラブの皆様、この例会に参加してくださる皆様、すべてにおいてロータリーに関わっていただけていることに深く感謝いたします。

私は、本年度掲げた5つの目標のうち、何かに取り組んでいただきたいと常々申しておりますが、皆様のクラブでは、現状いかがでしょうか。達成できていなくとも、達成するために、皆で話し合い、討論し、達成するためのステージにつなげて頂くことにはとても意味があります。その先に、近隣のクラブ、地区においての活発な意見交換が行われ、ロータリークラブの発展となり、地域の活性につながっていくと信じております。

本日の鹿児島市内合同例会は、クラブの垣根を越え、皆様が連携し、発展に向かう力強さの表れのように感じております。私達2730地区のすべてのクラブに対し、素晴らしい影響を与えてくれることになると思っています。私自身、そのことを心に留め、本日出席の皆様方に心より感謝を申し上げますとともに、これからの皆様のクラブの発展をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 定例理事会議事録

### 議 題

- 1・2月例会プログラム及び行事予定(添付資料)  
→プログラム変更あり
- 2) 会計報告(別紙明細)…承認  
(1)12月度試算表について  
(2)忘年家族会収支決算報告
- 3) 1/27 職業奉仕賞授与式について……………承認  
賞状・記念品  
(参考) 2018-19年度 月野 和男氏→A3サイズ賞状・山形屋商品券3万円
- 4) 3クラブ合同例会について  
→日程承認。式次第は2月理事会にて決める
- 5) 情報集会について  
→①2月25日、②2月27日、③3月5日3回に分けて開催
- 6) 今年度社会奉仕事業について  
→再検討

会議名	定例理事会
場 所	ふらり庵はいら亭与次郎本店
日 時	令和2年1月9日(木) 18:30~
出席者	坂元直人・川路理幸 加島 繁・橋元 隆 田中和俊・宮脇謙舟 志賀啓一・丸山健太郎 竹添 寛・池田泰光
欠席者	高岡和也・吉田健朗 岡部龍一郎

- 7) 戦略委員会設置について  
→告知のみ
- 8) 観桜会について  
日時: 令和2年4月4日(土) 18:30~  
場所: ホテルグランセレッソ鹿児島 きずな  
(参考) 特別徴収金より2,000円/人、会費は親睦委員長に一任  
昨年度の会費 大人5,000円、中高3,500円、小幼2,500円  
→日程承認。会費は親睦委員で再検討
- 9) 義捐金について  
(1) 首里城義捐金  
→500円×57人=28500円送金  
(2) 2790地区台風災害義捐金  
→以前例会で募った義捐金13000円、中原会員からの寄付を送金
- 10) その他  
(1) 次回理事会について……………承認  
令和2年2月3日(月) 例会後~ 於: 開開  
(2) 鹿児島アカデミーロータリークラブ実行委員会  
→会員増強について(現在15名ほどの目途あり)  
(3) 2020-2021年度 国際ロータリー第2730地区委員会組織図案  
→お知らせのみ

### 次回例会 令和2年1月27日(月)

職業奉仕賞授与式  
三洲堂テラー 黒木 幸氏

出席率	会員数	出席数	出席報告
第1964回例会	57名	44名	78.18%
前々回(12月16日)の補正	57名	45名	80.36%